

# 労働者の敵になり下った 動労革マルを粉碎・一掃せよ



## 動労千葉

86. 3. 1  
No. 2180

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九二五〇六（公衆）〇四七二二七二〇七

### 肉いき弾圧し組合員を退転・出向・帰休・広域配転・自殺へと追いやる

### 当局の忠犬「裏切者」松崎を許すな！

### 「奴隷化宣言」に引き続き、地獄への道まっしぐら

〇 動労「本部」革マル松崎は、二月二十四日開催された中央委員会で、「鉄労・全施労との三組合共闘」を強化する方針を公式に打ち出すと共に、「分割・民営化」後の労組のあり方について全施労と共闘行動を強めつつ、職能別総連合の具体化の準備を進める等の方向を打ち出した。これは総評労働運動の解体→右翼労戦統一へ動労革マルが完全にふみ切った歴史的・階級的裏切り方針そのものであり、「分割・民営化」を前提に国労や動労千葉を解体せんとする、まさに全国鉄労働者への重大な挑戦である。労働者階級の敵「動労革マル」を断じて許すな。

鉄労との連携「当局の奴隷の道にふみ切った「労使共同宣言」 (1/13)

〇 動労革マルは、一月十三日、鉄労、全施労とともに「労使共同宣言」なる歴史的屈服宣言を出し、首切り合理化推進と国鉄労働運動からストライキの絶滅「国鉄労働者を奴隷の道へと引きづりこもうとした。

〇 動労千葉と国労の決起を叩きつぶそうとするこうした中曾根「杉浦」松崎ラインの大攻撃を断固はねかえし、動労千葉は二波にわたるストライキを単独できりひらいてきたのである。

〇 こうした中で二月十八日動労革マル、鉄労、全施労は、非公式に書記長会議を開き、国労を除外した三組合の連携強化を確認し、裏切りと、屈服への水路を準備してきたのである。

労働者・家族をズタズタに切りさく

「広域配転」を推進 (2/18)

〇 また、この日、動労革マル・鉄労・全施労は、杉浦とトップ会談を行い、「分割・民営化」により発生する九州や北海道などの余剰人員のアンバランスを解消するとして、「61・11」までの「振りわけ」の前に、本州に広域配転することなどについて基本的に合意した。

〇 こんなふざけた話があるか！ そもそも先日、この当局的「アンケート」結果ですら、ほとんどが配転に反対しているのだ。当然だ。

〇 当局の十万人首切り合理化を前提化し、「三人に一人」の首切りのための過員の平準化「広域配転」に積極的に協力するとは、この労働者の心と生活をふみにじる以外の何ものでもない。

こんな「労働組合」を許せるか。

動労千葉・国労・総評を解体し、

鉄労(同盟)を軸に右翼労戦統一を推進 (2/24)

〇 こうした上で二月二四日、動労定中で松崎は、鉄労(同盟)、全施労(新産別)との共闘強化、さらには、「一企業一組合の考え方は正しい。職能別総連合を検討する」と、まさに、「総評加盟」という最後の組合的ベールをもぬぎずして、国労の解体、動労千葉解体「右翼労戦統一」と一気につき進んでいる。

〇 こんな動労革マルをどうして許せるか！ 第一波・第二波のストで、いよいよ活性化を開始した全国の労働者の怒りの力で、動労革マル追放・一掃へさらに断固としてつき進め。

動労(総評) 三万 三万 三万  
 全施労(新産別) 三万 三万 三万  
 鉄労(同盟) 三万 三万 三万  
 国鉄三組合、連携強化へ

「広域配転は必要」で意見一致  
 国鉄当局と動労など三組合

13版 198  
 3/4

よくぞ発した「労使共同宣言」

さらに総力をあげて奮闘しよう

田端支部「86年、年頭の基調」から

はじめに

↑「奴隷化」宣言を打ちたたき、  
動労東京・田端支部の機軸誌

